

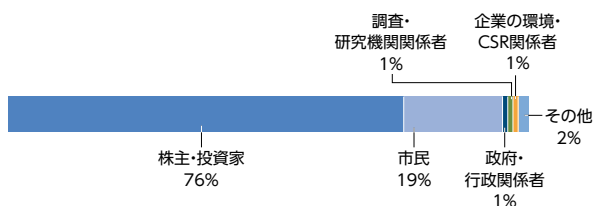
# 社外の評価・意見

J-POWERグループは、サステナビリティレポートに対するアンケートや審査など、第三者による評価・意見を取り入れることに努めています。これらの評価・意見を通じて、J-POWERグループに期待される事業展開と環境活動を把握し、企業活動の向上を図るとともに、それらを公表することによって信頼性と透明性の向上を図っていきます。

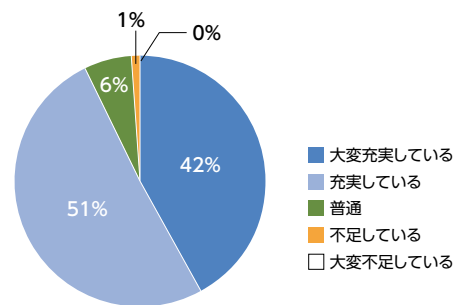
## 読者意見

『J-POWERグループ サステナビリティレポート2010』（2010年7月発行）に対し、読者の皆さまより多数のご意見をいただくことができました（アンケート回答者数552名）。これら貴重なご意見を今後のレポート作成やJ-POWERグループの取り組みへの大切なメッセージとして受け取り、今後の事業活動に役立てていきます。

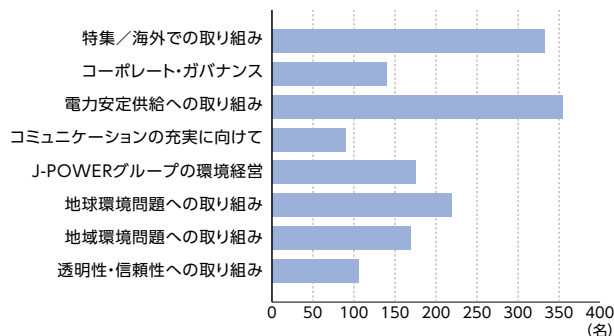
### アンケート回答者内訳



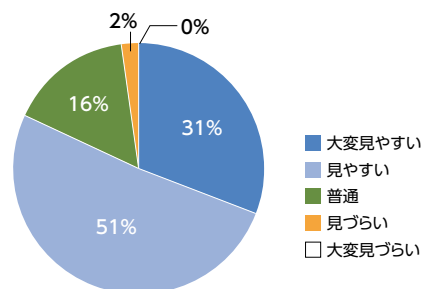
### レポートの情報量・内容



### 関心度の高い項目（複数回答可）



### レポートのデザインレイアウト



### J-POWERグループに期待する取り組み

代表的なご意見	ご意見に対する回答
「電力事業が否応なく環境への負荷を与えている」という認識を前提としている点に好感が持てた。是非、その認識を従業員一人ひとりが共有できるようにしてほしい。	「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念を従業員全員が真に共有し、「エネルギーと環境の共生」を目指して様々な事業活動に取り組んでいきます。
今般の原発事故を教訓として、原子力発電施設の安全をシビアに見直してください。	J-POWERでは、今後、福島第一原子力発電所の事故に対する安全強化対策等の検討を進め、国の方針なども踏まえたうえで、必要な対策について常に適切に反映しながら、地域のご理解を賜り、皆さまから信頼される安全な発電所作りに向け全社をあげて取り組んでいきます。 【本レポート P11～P13「大間原子力発電所の状況について(報告)」をご参照ください。】
特集の「海外での取り組み」は大変参考になりました。今後、特に海外での事業展開が大きくなることを期待します。	J-POWERグループは、海外技術協力をはじめとする約50年の実績を有する「海外コンサルティング事業」と経営の第2の柱として注力する「海外発電事業」の両分野を推進し、日本国内で培った発電事業での環境保全技術などを活用して世界の持続可能な発展に貢献していきます。 【本レポート P31～P32「海外での取り組み」をご参照ください。】
地域環境と自然の恵みに配慮されて、生物の対応・管理に協力され、これからも環境保全に努めていただきたい。	J-POWERグループは、事業活動にあたり、生物多様性の保全への配慮を行うとともに、自然環境との共生・調和に努めています。 また、発電所の新設等をする際には環境アセスメント(環境影響評価)を実施し、地域の方々などの意見を反映しながら環境保全のために適切な配慮を行うとともに、モニタリングを行いながら自然との共生に向けた環境保全対策を実施しています。

そのほかの主なご意見とご意見に対する回答については、ホームページで紹介しています。 <http://www.jpowers.co.jp>

## 本レポートの正確性等

J-POWERグループサステナビリティレポート2011に記載の環境・社会情報および同パフォーマンスデータ(以下、サステナビリティ情報)については、一般社団法人サステナビリティ情報審査協会のサステナビリティ報告書等審査・登録制度において定める重要なサステナビリティ情報の正確性および網羅性に関して、(株)新日本サステナビリティ研究所による審査を受審し、「独立した第三者による保証報告書」を受領しています。

本レポートの裏表紙に掲載しているJ-SUSマークは本レポートに記載するサステナビリティ情報の信頼性に関して同協会が定める「サステナビリティ報告書審査・登録マーク付与基準」を満たしていることを示すものです。



『J-POWERグループサステナビリティレポート2011』に対する独立した第三者による保証報告書



審査受審の様子(九頭電電力所/福井県)



審査受審の様子(九頭電電力所/福井県)



審査受審の様子(J-POWER本店)

## エコリーフ環境ラベルの認証取得

J-POWERの製品である電力は、環境ラベル「エコリーフ」に製品名「卸電力」として(社)産業環境管理協会により認証登録され、同協会のホームページで公開されています。

環境ラベルは、ISOが規定しているタイプ「I」「II」「III」の3種類に分類されます。エコリーフはタイプ「III」に区分されるもので、ライフサイクルアセスメント(LCA)手法により、製品の製造・使用・廃棄の全段階の環境負荷を定量的に算出し、第三者による認証を受けたものです。

詳しくは右記(社)産業環境管理協会ホームページをご参照ください。



・(社)産業環境管理協会ホームページ  
<http://www.jemai.or.jp/ecoleaf/index.cfm>